



ぽてと通信

2008年1月24日 号外

今話題の「道路特定財源」
暫定税率25円/ℓを削減すると
福岡県の道路財源はどうなるの
か
仕組みを検証してみました。

平成18年度決算から

福岡県が道路整備に使ったお金は
1,685億円 その内訳は……

支出
1,685億円

借入金の返済
499億円

道路の建設・維持管理
1,186億円

収入
1,685億円

一般財源
256億円

道路特定財源
355億円

国庫支出金等
605億円

県債
469億円

道路特定財源の
暫定税率25円/ℓ
がなくなると

166億円減

借金返済後の112億円を頭金にして
国庫支出金・県債を捻出した。

借金を返済しても54億円赤字。
頭金がないため事業費は、ゼロに。

収入
?

一般財源
256億円

特定
財源
189
億円

事業費0円

借金返済499億円

借金を返済するために
54億円を捻出しなければならない

検証 の 結果

ガソリンを25円/ℓ安くするのは、物価をどうするかという観点から政策議論すべきです。

検証の通り、福岡県の財政事情では、道路特定財源のうち暫定税率の25円が無くなると、事業費が組めなくなり、生活道路の維持・整備ができなくなるということがわかりました。

目の前の道路に穴が開いていてもシバラク放置されたり、ガードレールのような安全対策に至るまでできなくなるとは私たちの生活が困ります。